

# 総務文教委員会記録

令和6年4月12日（金）  
10時00分～11時49分  
第2委員会室

【委員】 芦谷委員長、沖田副委員長、村武委員、岡本委員、永見委員、西田委員  
【議長・委員外議員】  
【事務局】 松井書記

---

## 【議題】

- 1 取組課題について（委員間で協議）
- 2 所管する案件への対応について（委員間で協議）
- 3 その他

【別紙会議録のとおり】

【会議録】

[ 10 時 00 分 開議 ]

○芦谷委員長

ただいまから総務文教委員会を開会する。出席委員は6名で定足数に達している。それでは次第に沿って進める。

1 取組課題について（委員間で協議）

○芦谷委員長

当委員会における取組課題については、地域交通をテーマに進める方針としているが、取組課題の内容を委員会で決定したときは、委員長から議長に文書で通知することになっている。

今回、議長に提出する通知の案を作成したので、これをもとにテーマや具体的な調査方法について協議し、正式に決定したい。書記から説明をお願いします。

○松井書記

（ 以下、資料を基に説明 ）

○芦谷委員長

経過の説明があったが、テーマを「地域交通について～移動の自由をどうつくるか～」としている。目的は、交通の利用減、あるいは路線廃止、縮小といったことが当地域でも問題になっている。高齢化も進み移動手段のない市民も多い。したがって通院や通学、買い物に大きな支障がある。こういった現状を把握する中で、今後の地域交通の在り方について、当委員会としてしっかり研究、検討し、できれば支援策を求めて執行部に提案、提言しようということである。

調査方法として4点書いている。順番はないので、それぞれ調査を続けながら我々の所期の目的を達成するようにやっっていこうと思っているので、皆から忌憚のない意見を頂戴したい。

○西田委員

この調査事項については積極的に進めるべきだと思う。今回のテーマは、買い物弱者などいろいろなことがあってそういうテーマになったと思うが、交通手段というのはこれまでもずっと浜田市にとっての課題として合併したときから調査研究しており、過去にも長野県安曇野市や福岡県八女市に視察に行っている。今、浜田市で取り組んでいる予約型乗合タクシーや自治会輸送などの視察にも委員会で行っている。そういう視察に行った報告資料が残っていると思うので、これまで過去に委員会として取り組んできた中身を踏まえた上で、そこからさらにもう一歩進んだ取組をこれから委員会で進めていくべきだと思う。同じようなことをやってもあまり意味がないので、過去を踏まえた上でこれから新たな一歩で取組をしていけたらと思う。

○岡本委員

総務文教委員会をしばらく外れていたのですが、地域交通についてこれまでやってき

た内容を把握していないが、瀬戸ヶ島を経由する石見交通は、土日は運行しない形で4月からスタートした。その説明会を聞いていて、また地域の反応を見たときに、意外と「仕方ない」という受け止めを感じながらも、予約型乗合タクシーの説明があった中では、いつといつ病院に行くとか、いつといつ買い物に行くとか、そのときはこうするといった話の中で思ったのは、今免許返納が進んでいる中で、実際は病院も月曜から土曜までずっとやっているわけではなく、月に2回や1回という中で、一番頻繁に行く日、交通を使っていろいろなことをするという内容が本当に具体的に分かるような調査をしていくと、もっと戦略的なものが出てくると思った。アバウトに買い物や病院に行くのが大変だというだけではなく、その地域は何曜日に一番通院が多いとか、買い物はいつ行くのが多いとか、土日はどうなのかといったことを聞いていくのも方策を考える上で必要ではないか。今までやってきたものを参考にしながら、その後どう変化したかを調べてみてはどうかと思っている。

### ○永見委員

各地域で民間の公共交通が廃止になり、その後、市で乗合タクシー等の事業に取り組んでもらっているが、金城の場合、生活路線バスを利用して通院や買い物に行く人はほとんどいない状況なので、業者にはスクールバスとの混乗便というような形でも取り組んでもらっている。昼間もほとんど空のバスが走っている状況なので、各地域の実情を確認して、それからどういう形でどうなのかという取組も検討する余地があるのではないかと思う。

今回有福線が廃止になり、その前には今市線や櫛田原線が廃止になった。学生が利用する場合に座れないような便もある。しっかり状況を確認した上で、検討に進むべきではないか。

### ○村武委員

細かい地域の状況は把握する必要があると思う。地域によってニーズや課題が違うのではないかと思う。それは地域井戸端会で各委員が全会場に行くので、話を聞けると思う。

西田委員から、過去の委員会を踏まえてと言われたが、私自身も総務文教委員会は初めてなので、ぜひ皆で共有するべきではないかと思う。併せて、市の事業も今までいくつかやってきたと思う。それでうまくいかないのも、こうやって新たなものが出てきていると思うが、そこでの課題なども執行部との意見交換のときに話を聞いてみたい。

### ○岡本委員

地域井戸端会の話が出た。状態を聞くのは当然必要だと思う。細かい実態を調べる必要があると思っている。

もう一つ思い出したが、まちづくりの関係で三隅に行った折に、三隅は先進地で、特に岡見地区は今までは買い物と一緒に連れて行ってくれた人がいたが、最近世代が変わっていく中で、買い物に誘ってくれる、あるいは代わりに買ってきてくれる、そういう流れがだんだんなくなってきているという話があった。そういうものも含めて

アンケートに落とし込んで、ただアバウトに質問するのではなく、買い物はいついつ行くか、病院はいついつ行くか、全戸で確認を取って、どういう利用をしているか、例えばバスを使っているとか、金城のようにまちづくりで出すあいのりタクシーを使っているとか、そういうところまで把握できるようにしておけば、かなり実態が見えてくるだろうと思う。

もう一つ。このたびまんてんが休止になったのはコロナに原因があると思っているが、もう一つは今福にコンビニができたというのも、本当にそうなのかということ把握しておいたほうが良いと思う。買い物はどこへ行くのかといったときに、どこへどういう方法で行くか、家族にお願いしているとか自分で行くとか、アンケートの作り方に手法が要ると思うが、そういう形にすると、より実態に近いデータが集まり、ではどういう戦略をするかが見えるのではないかという気がしている。

### ○芦谷委員長

今までの提言を乗り越えて、同じようなことではなく、少し具体化するような話もあった。具体的な中身を詰めながら、しっかり実態を把握するということ、それから細部にわたることについても、こちらの視点を上げて検討するといった意見が出た。そういったことと言えば、地域井戸端会の話も出たし、執行部の認識や現状確認も必要なので、担当課のヒアリングなども考えている。地域井戸端会を含めて、現状把握なり執行部の考え方を確認していく必要があると思う。

### ○村武委員

地域井戸端会の話が出たが、どの程度の方が来られるか分からないので、なかなか全てを把握することは難しいと思う。ではもう少し踏み込んだ実態を把握したいときに、どういう方法があるのか。先ほど岡本委員からアンケートという話があった。委員会から全戸アンケートを取ることはできるのだろうか。

### ○岡本委員

今は地域井戸端会の話が出たので、我々が総務文教委員会として地域井戸端会にこのテーマを持っていくときに、今我々はこういうことを考えている。ということは、より具体的に皆の状況把握をしたいから、今後アンケートという形でぜひ皆に協力を願いたいというアクションはあっても良いだろうと思う。先ほど話したように、例えば平日なら月曜から金曜までがどうといったアバウトなものではなく、実態として病院は何曜日が一番多いのかといったことを突っ込んで話をさせてもらい、買い物でも友人に頼むことができるのかどうかといったことも併せて調査し、より補完的な交通手段が対応できるようなことを考えていきたいのでぜひお願いしたいと伝えることは必要だろうと思う。

実態を知るにはアンケートしかないとは私は思っている。アンケートの中身がより充実したものになれば見えてくるだろう。それは執行部にお願いするわけにいけないので、我々がその中で整理していかなければいけないだろう。整理の仕方を我々も勉強したり研究して、解決策が見いだせるものになるようにしていかなければいけないと思っている。

○松井書記

アンケートは非常に有効な方法だと思うが、方法によるが、例えば郵送といった費用は議会の今年度予算に確保していないので、予算が掛からない方法があるかどうか研究が必要である。

○岡本委員

各行政連絡員に回覧や市報などを配るが、あの中で全戸配付のような形でお願いすることは可能かどうかだけ確認しておきたい。

○村武委員

恐らく行政連絡員に届けるところに費用が掛かると思う。

○松井書記

私は前の部署で全戸配付をやったことがあるが、費用が掛かる。

○永見委員

今福の地区まちづくり推進委員会でアンケートをしたことがある。その配付方法は、先ほど行政連絡員という話が出たが、市から市報など様々な配付物がまとめて送られる段階において、まちづくりセンターの配付物も金城支所に送って一緒に配付する形にしているので、アンケートを全戸配付するに当たっては、各地域で汗をかけば経費が少なく済む形で配付できるのではないかと思う。

実際に公共交通についてアンケートを取ったこともあるし、買い物の状況についてもアンケートを取ったことがある。

○岡本委員

このアンケートは、旧浜田市内はあまり対象にならないと思っている。むしろ対象ターゲットは、今問題になっているところという形である程度絞れるのではないかと思っている。そこを集中的にするということで、永見委員が言われるように汗をかきながらお願いすれば、何となく地域課題を解決してもらおうという観点から、協力は得られると思う。一番大きな問題は回収をどのようにするかくらいで、お願いすることはできてもどの程度回収できるか分からない。それが問題かなと思う。

○沖田副委員長

アンケートでより細かなニーズを把握するのは非常に大事だと思う。ただ、アンケートをやるとなると予算を伴うのと、一つ思うのが、議会なので結局運行主体にも運営主体にもなれない。そうなったときに、まず浜田市がここ数年、新規の乗合タクシー事業なども導入した中で、やはりまだ不足しているのは何かといったものを見抜いて、執行部にそれを指摘していくのが提言の一つの目的と言う気がしている。

市の地域公共交通計画にも、そこまで細かくはないが、何の便に平均どのくらい乗っているかなど、ある程度のことはここに載っている。集落単位などのような細かい数字ではないが、これを読み込むだけでもかなりのショートカットになるのではないかという気はする。一応浜田市の地域交通の現状等を網羅したデータがある中で、浜田市が地域交通を運用する中で何が足りないかといったところが研究テーマなのかなという気がしている。

○芦谷委員長

アンケートの話も出たが、この計画の中にアンケートの結果も載っているようである。何はともあれ現状を知るという意味で、現状について執行部から話を聞くという段取りもしているが、それについて書記から説明をお願いする。

○松井書記

地域交通の担当課だった地域活動支援課が廃止になったので、この4月からまちづくり社会教育課に変わった。連休前後の都合を聞いたところ、今は敬老乗車券の販売などで非常に忙しいため、できれば連休明けにしてほしいということで、5月8日か10日あたりでどうだろうかという返事をもらっている。

○芦谷委員長

今出たように、5月8日か10日とのことなので、そこを一つの目標にしながら確認したいと思うがどうだろうか。

○岡本委員

賛成である。また、副委員長が言われた内容について、そうだと思う部分と、担当課が変わってその課がどこまで把握しているか少し疑問に思う中で、今我々が話したように、その地域について個別にその場で聞かせてもらって、どこまで把握しているのか、執行部のここに至るまでの調査、アンケートもやっているとのことなので、その場で聞かせてもらって、整理できるものがあれば整理する。難しい部分があればそこだけ抽出することも、経費節減になり無駄なこともしないで済むので、それも良い。執行部を交えての意見交換があるなら、または説明があるなら、そこへ向けて中心的にやって、この地域はどうなっているのか。例えばまんてんの話なども執行部に話して実態を聞いてみたい。

○芦谷委員長

執行部からいろいろな話を聞くということで、5月8日と10日が上がったが、皆の都合はどうだろうか。

( 以下、日程調整 )

では、8日の議会広報広聴委員会が終わった後、15時半で設定してよろしいか。

( 「はい」という声あり )

ではそのように決定する。

○沖田副委員長

執行部にヒアリングするということだが、ただ漠然と地域交通のことを聞くといっても、地域交通にはJRも路線バスもあれば、敬老乗車券まで地域交通である。短時間でこれらを全部やろうと思うと、とてもではないが無理なので、当委員会としてどういったことを聞きたいか、ある程度具体的に二つ三つくらいに絞り込んでおかないと論点がぼやけてしまう。なおかつせつかく地域公共交通計画ができたので、ある程度この中から何かを抜粋して聞くという手法が良いと思うがどうか。

○芦谷委員長

ヒアリングの実効を上げるために、各委員の思い、質問事項についてあらかじめ

示したほうが良いという話だが、皆協力してもらえるか。

( 「はい」という声あり )

自分なりに聞きたい点があれば、三つでも四つでも五つでも。恐らく委員間で被るものもあると思う。

**○岡本委員**

一般質問と同じように、こういうことが聞きたいというのを示せば担当課も準備もしやすいだろうし、無駄な説明もなくなるだろうから良いのではないか。

**○芦谷委員長**

提出期限はどうしたら良いか。

**○松井書記**

正副委員長と相談して、またメール等でお知らせする。

**○芦谷委員長**

ではまた追って連絡するので、それまでに間に合うようお願いする。

**○岡本委員**

次の週の委員会の案内があった。5月15日の委員会では地域交通のことも報告がある予定なのか。

**○松井書記**

執行部から説明があるかは把握してないが、特段ないと思う。この地域公共交通計画は3月に報告を受けたものである。

**○岡本委員**

この前出されたわけだから、それについてあえて説明しようということはないので、8日に集中したものにしておかないといけない。後から聞くチャンスはないから、そういうことか。

**○松井書記**

はい。副委員長が言われたように1時間半しかないので、説明を例えば1時間くらいしてもらって、質問などもする。

**○芦谷委員長**

今の件についてはよろしいか。

( 「はい」という声あり )

あちこちあるが、当然地域井戸端会のこともあるので、議会広報広聴委員会の委員が3人おられるので、うまくかみ合わさるように、それぞれのところでまた進めてもらいたい。

もう1点は、先を急ぐようだが、できれば先進地調査などを視野に入れながら、およその目標なり段取りを決めておいたほうが、浜田市の状況を把握しながらほかの先進例などのことも学んでみようということになると思うがどうか。

ここで暫時休憩する。

[ 10 時 36 分 休憩 ]

[ 10 時 51 分 再開 ]

○芦谷委員長

会議を再開する。

休憩前に出たように執行部からヒアリングをする、地域井戸端会で意見を聞く、そういったことを踏まえて、先進地の調査も必要となると思うが、どなたか発言があればお願いします。

○沖田副委員長

時期的なものもあると思うが、7月上旬をめどに先進地をいくつか候補を上げて、行くように検討してみたらどうか。それに際して、今回は地域交通のことだが、とはいえ総務文教委員会はかなり所管が広いので、皆からこういった先進事例を学びたいといった意見をもらいながら、7月をめどに検討したい。

○芦谷委員長

今も出たように時期もそれなりに決めて、まだあやふやな部分も多いが、ぜひ副委員長を中心に書記と皆とで視察先について、次の議題にも関係するが、地域公共交通をメインにしながら、それ以外のことも踏まえて視察を実施するというので、この議題を終わる。

今提案した、議長に対する取組課題についての通知文については、こういった文案でよろしいか。

○松井書記

この通知文だが、西田委員が最初に言われた過去の活動の確認を、3番の調査事項に加えてはどうかと思うがどうか。

○芦谷委員長

それでよろしいか。

( 「異議なし」という声あり )

ということで、議長に通知したい。

以上をもって議題1を終わる。

2 所管する案件への対応について ( 委員間で協議 )

○芦谷委員長

正副委員長と事務局で考えてみたのだが、当委員会が所管する案件で、今後の対応が必要と思われるものがあるので、それぞれ委員から意見を伺いたい。松井書記から説明をお願いします。

○松井書記

( 以下、資料をもとに説明 )

○芦谷委員長

どれもこれも重い問題だが、質問して良いか。5月の総務文教委員会の中では、石見神楽伝承の専門部署から何らかの報告があるのか。



○松井書記

5月15日の委員会での執行部報告事項については、まだ執行部で取りまとめている最中なので分かってない。

○芦谷委員長

県立高校の共同寄宿舍についても説明があるか。

○松井書記

それについてもまだ承知していない。

○芦谷委員長

石見神楽の伝承と県立高校の共同寄宿舍については説明があることを期待したい。協働のまちづくりについては、特別委員会から所管がこちらに回ってくるので、ここに4人の委員がいるが、そこを視野に入れながら進めていこうということである。それから、我々が取組課題を進める上で、改選前の総務文教委員会の提言について把握しておいてもらい、要は提言倒れに終わらないということである。

では、まずサン・ビレッジ浜田アイススケート場についてだが、皆から意見や思いがあれば願います。

○岡本委員

この案件は皆ご存じのように、請願や陳情という形で採択している。これをずっとなおざりにするわけにいかないなので、できるだけ早い時期に、陳情の中身についても、執行部がコンサルタントに出した内容、それから陳情者が出された相違点もすり合わせをするような話を執行部とやるべきだろうと思っている。そうしていかないと、言った言わないとか内容がどうこうということではなく、最終的にこのサン・ビレッジはアイススケート場で存続するのか、それとも執行部が示すように次のステップに行くのか、それほど長い期間置いておくわけにいかないなので、そういう観点からも当委員会として協議していくことが必要だと思うので、ぜひ正副委員長で調整してもらい、話が進むようお願いしたい。

○村武委員

岡本委員が言われたようなこと、執行部とのすり合わせを進めてもらいたい。

○芦谷委員長

これについては、今までの請願、陳情をもう一度我々も学び直してみる必要があると思っているし、各委員の思いをしっかりと募ってもらって、執行部の思いを聞きながら、ある程度、総意にはならないが委員個々の研さんによって思いを募らせていければと思っている。

○沖田副委員長

陳情と請願は結構な件数を採択した。これを1個ずつやっていくというのもなかなか大変だと思いながら見ているところである。

○芦谷委員長

暫時休憩する。

[ 11 時 07 分 休憩 ]

[ 11 時 41 分 再開 ]

**○芦谷委員長**

委員会を再開する。

サン・ビレッジの件だが、どなたか発言があればお願いします。

**○岡本委員**

サン・ビレッジ浜田アイススケート場については、3月定例会議において請願や陳情を我々が採択した経緯がある。このことについては、できるだけ早い時期に委員会で執行部と協議をしていく必要があると思うので、今後の中で早い対応、委員会の開催をお願いします。

**○芦谷委員長**

採択した案件でもあるので、そういった方向に沿って進めるということを確認して、この議題については終わりたい。よろしくお願いします。

( 「はい」という声あり )

次に、石見神楽の伝承についてだが、どなたか何か方向性なり意見があればお願いします。

**○西田委員**

石見神楽の伝承については当委員会の担当ではあるが、今は浜田市議会石見神楽振興議員連盟（以下、神楽議連）で取り組んでいる。執行部にできた専門部署は、神楽議連との意見交換を早い段階から、それも定期的にしたと言っている。担当部署と神楽議連の役員が中心になるが、そちらである程度話合いを進めていきたいという方向になっているので、当委員会としても神楽議連と連携しながら取り組み、情報共有していけば良いのではないかと考えている。

**○芦谷委員長**

ほかに意見はあるか。

( 「なし」という声あり )

ではこれについては、全議員が神楽議連のメンバーなので、神楽議連の会議の中でそれぞれの思いをしっかりと反映しながら、総務文教委員会の所管なので各委員がその場で発言されることをお願いしたい。

次に、協働のまちづくりについて、意見をお願いします。

**○岡本委員**

2月に協働のまちづくり推進特別委員会で市長に提言書を出した。この3月定例会議では、執行部から、まちづくりコーディネーター以外の、新たに支援する事務方を中心にした体制を取ると聞いている。進捗状況を聞いてみたいと思っているので、早い時期に総務文教委員会で執行部の報告をもらいたい。併せて、このたびの人事異動でかなり専門的にやっていた職員が変わってしまったことを、今後のまちづくりをやる上でどうかと思っているので、そういうことも含めて執行部の対応について聞きたい。それを伝えて、また聞かせてもらおうと思っているのでよろしくお願いします。

○芦谷委員長

ほかに意見はあるか。

( 「なし」という声あり )

では、今後、協働のまちづくり総務文教委員会の所管に戻るので、各委員が問題意識を持ちながら、しかるべきときに思いを述べることにしたい。

( 「はい」という声あり )

続いて、改選前の総務文教委員会の提言2件については、そういったことがあるということで、ぜひ目を通してもらいながら、提言倒れに終わらない形で進めるための資料として見てもらいたい。それで良いか。

( 「はい」という声あり )

最後に、県立高校3校の共同寄宿舎についてだが、何かあるか。

○岡本委員

4月から新しく生徒が入学したということもある中で、これから追加的な入寮もあるかもしれない。例えば現時点の入寮状況と管理体制について報告してもらえたらと思っている。委員会として求めていきたいのでよろしくお願いします。

○芦谷委員長

松井書記、これについては執行部から報告があるだろうか。委員会として言っておこうか。

○松井書記

必ずあるかどうかは分からないが、立ち上がったところなので、報告はあるのではないかと思う。

○芦谷委員長

そういうことにしたい。ほかに何かあるか。

( 「なし」という声あり )

それでは以上で終わる。

3 その他

○芦谷委員長

次回の委員会の日程だが、先ほど決めたように5月8日の15時30分から、議会広報広聴委員会終了後に総務文教委員会を開催するのでよろしくお願いします。その際には事前に何項目か質問項目を出すことにするか。

○松井書記

1時間半しかないので、何を聞きたいかは事前に委員に出してもらい、それを正副委員長で取りまとめて執行部に伝えるようにしたい。

○芦谷委員長

何日までにしようか。

○沖田副委員長

後で、正副委員長で決めよう。

○岡本委員

様式をもらえれば、何を聞きたいかをそれに全部打ち込んでいくので、よろしく  
願います。

○芦谷委員長

はい。それでよろしいか。

( 「はい」という声あり )

次回は5月8日で、5月15日にも委員会を開催するのでよろしく願います。

以上で総務文教委員会を終了する。

[ 11 時 49 分 閉議 ]

浜田市議会委員会条例第65条の規定により、ここに委員会記録を作成する。

総務文教委員会委員長 芦谷英夫